

「複合交流拠点等整備用地取得費11億円は一時ストップして、市民を交えて計画を再検討すること」

# ストップ「市長選前」「9.9判決前」2.9の 11億円土地購入

## 市街地中心の市保有地「ふれあい公園」に図書館・交流施設をつくりましょう!



ヒ素を含む  
産業廃棄物埋設土地

### 見えてきた日立社宅前の11億円2.9の

<ヒ素検出地帯で検査行わず埋め戻しています>

- ・ ガラを除去した土は、そのままブルドーザーで埋め戻し
- ・ 10cm四方網目スケルトンバックホーで深さ2.5mまで掘削。
- ・ 土壌成分分析は行わず、コンクリートガラはつくば市、小美玉市の再生資源施設へ搬入、電子マネーで管理。

埋設物掘削除去作業 (令和4年3月FM推進室資料から)

「不適切な土地」更なる土壌検査・調査が求められます。誰のための施設??

2.9の購入予定地の奥に見える日立の社宅群。合意書に反して4月も続けられた埋設物撤去工事、土壌分析も行わず、何をしていたのでしょうか?

ヒ素を含む産業廃棄物埋設地の汚染土壌は、通常、全面的に入れ替えられます。神立停車場線の廃棄物は笠間の最終処分場に運ばれ、成分検査で「ヒ素化合物」が検出されました。議会での追及で明らかになり、日立はコンクリートガラを小美玉市、つくば市の再生資源施設へ搬入。土壌分析をせずに、ガラを取り出した残土を埋め戻しています。(資料請求で判明) 神立駅西口停車場線の公共道路工事でヒ素が検出された土地です。公園、公共施設にふさわしいのか土壌検査・調査が求められます。

# 永栄偕俸

発行責任者 設楽健夫  
TEL 029-832-9620



総務省  
霞ヶ浦地区  
過疎指定

### 用地契約差止裁判での市の反論

①「複合施設は歩いて通える場所というのは住民が主に自動車を交通手段とする方々の施設として、ふれあい公園は不適切、主に自動車を交通手段として利用しており、当市に当てはまらない。」

②「令和2年12月に調整池を公園として整備する予定を公表したものの、調整池の中を公園として整備することは困難と判断するに至り、現在は、調整池の周囲に遊歩道を設置する予定である。」

③「本件土地の取得費用について、購入代金は11億円と見込まれるが、国の補助金により賄われ約5億円については地方債(市の借金の発行により調達する予定である。過大な支出とは言えない。……1.5の公園を設置すれば、魅力ある交流拠点となり……中心市街地の賑わいの再生に資するものとなり財政力指数は全国的に見れば低いとは言えない。」

(裁判の準備書面からの抜粋)

### 裁判での作弄的反論

日立の2.9の埋設物撤去も巧妙に土壌分析を回避しながら

売却を強行しようと  
しています。

①住民無視の反論  
市は、自動車を交通手段とする方々の施設として、住民のための歩いて通える場所は不適切として公然とふれあい公園建設案を否定しています。

②調整池の公園整備  
ふれあい公園建設案をつぶすため、調整池を公園として整備する予定を変更しました。

当初、非灌水時には多目的運動広場として灌水時に排水する計画でした。

この地は今も普段は畑です。これを急遽変更し「危険な調整池」を設置し、複合施設公園に不適切として、反論の理由としています。

③木を見て森を見ず  
市財政逼迫の弁明  
過疎に至った全体財政の逼迫には触れず、巧妙に日立の土地購入の補助金にすり替えて、市はあれやこれやと反論しています。

立地適正化計画は

建設地をふれあい公園に見直し、修正をかけ、補助金を有効に使うべきです。

**財政力指数の悪化**  
総務省の霞ヶ浦地区過疎指定理由は、人口減少と財政力指数の悪化です。

市の一般会計は財政調整基金を5億8千万円も繰り入れなければ採算が取れない状況にあります。財政調整基金の残高見込みは6億円で極めて危険な状態にあります。

霞ヶ浦地区の深刻な過疎と拡がる過疎地  
●高校生になると家族による神立駅までの送迎が毎日続きます。

●霞ヶ浦地区は神立ラインバスを走らせるために「交通空白地帯」にされ、デマンドタクシー廃止議案が提出されました。住民運動で復活しましたが、値上げされ、しかも協同病院へは行けません。

●唯一の公共交通であったあじさい号は

下稻吉地区市街地中心の市保有地、ふれあい公園5kmに図書館交流施設建設を求め、日立社宅前2.9の11億円の土地購入差止を要求する住民訴訟の裁判が進んでいます。

訴訟では(年寄り子供)住民が歩いて通える場所、市保有地ふれあい公園付近を使えば、土地買収費用は必要ないと訴えています。

坪井市長は、11億

円土地購入を強行するため、裁判で、なりふり構わぬ反論とアリバイづくりを繰返しています。

議会での追及により、平日に一方的な押付け説明会を開催し、住民無視の声で紛糾しています

都市計画整備委員会も開催せず、裁判においては、ふさわしくない11億円土地購入を押し通す作弄的な反論を繰返しています。

廃止、地域の周囲に二バス復活は過疎対策の重点策です。

●保育所にある狭い南小の放課後児童クラブの改善や牛渡と志土庫の閉校小学校体育館の耐震工事は放置され続け閉鎖状態です。

●千代田中地区の閉校小学校も、築10年の志筑小学校を含め4校が閉鎖、避難所も閉鎖されています。過疎人口は2万人になろうとしています

●国民健康保険税の税率改正で負担増となる世帯3割世帯数が1885。年金所得、子育て世帯が値上げ、救済額2千125万円が必要ですが、こうした過疎・交通空白地帯の対策、国保の対策財源を確保しなければなりません。

公正公平な財政改革は待った無しです。不要な11億円の土地購入、税金の無駄遣いの余裕はありません。

日立の土地購入差止め裁判は5月20日に結審し、9月9日に判決が下されます。市長選で議論して参りましょう。

# 坪井市長引退表明、相次ぐ出馬表明、4氏による7月市長選か？

## 2.9日日立土地購入契約強行を止め、慎重に調査検討し、新市長選出後の新体制で継続審議を！ 徒歩や自転車でも行ける市街地中央に2階300坪図書館のより良い施設を建設しましょう！

### 二つの署名へのご協力を！

#### 文化・交流センターを考える会

2022年4月

代表者 梅澤 良正  
かすみがうら市稲吉東3-4-6

- 二つの署名 ● 「複合交流拠点施設整備用地取得費11億円の再検討を求める請願書」  
(一次ストップして、市民を交えて計画を再検討すること)
- 「複合交流拠点施設整備用地取得費11億円の認可をしないことを求める要請書」 (判決が出されるまで「認可」をしないこと)



検討されていた(図書館)複合交流施設 2階建てプランのパース  
中心市街地土地利用基本構想<業務報告書> 令和2年3月

坪井市長は4月12日、7月の次期市長選に不出馬を表明しました。

市長選には4氏が立候補表明し、運動をしています。3氏が財政逼迫下で複合交流拠点整備の進め方を述べています。市長選で議論になるのは必至の情勢です。

日立2.9日11億円の土地購入・複合施設建設への立場は以下の通りです。

昨年12月、市長選立候補表明の「金子としあき氏」は「複合交流施設の整備」に「民間企業の活力導入を通じ、市の財政負担を抑えながら、

市民のにとって魅力的な交流設備整備を進める」としています。

3月30日表明の「みやじま謙氏」は「市民に愛される図書館・文化交流センター整備に全力」として「計画を全面的に見直し、より多くの皆様が

徒歩や自転車でも行ける市街地中央に、市民に愛される図書館・文化交流センターの整備を進める」としています。

4月19日表明の「久松公生氏」は「坪井市長の政策を評価、継続していく」市の負担を最大限に軽減した非常に有利な制度を活用した事業といえる。活力とに

住民訴訟裁判が結果となり判決が9月9日に下されま

11億土地購入の再検討を求める請願署名が展開されています。

市民に愛される図書館・文化交流センターの整備計画を慎重にすすめる新市長の新体制で議論すべきです。

なりふり構わない税金無駄遣い連発

坪井市政は11億円の無駄な土地購入に加えて、返還が決まっていた第2常陸の公園の購入、理不尽な市が使っていないかった霞台旧施設解体の費用負担等を相次いで議会に提案しています。

矢口龍人議員、佐藤文雄議員、設楽議員が修正案に賛成の討論、川村成二議員が反対討論、賛成少数で否決されました。

大切な税金です。市長選で議論を深めましょう。

市街地住民の願いである図書館・交流センターは「財

### 木を見て森を見ず。市財政逼迫の弁明

財政に無駄遣いの余裕はありません。

財政力指数の悪化で総務省により霞ヶ浦地区が過疎に指定されました。

過疎化は千代田中地区にも拡がり2万人に達します。

中心市街地の人口は2万人です。外国人は1200名を超えています。2万人の過疎地、2万人の市街地のかたがた双方に、納税者・生活者・利用者に校正で公平な施策と無駄をなくした予算配分こそが必要です。

### 「古橋智樹氏」

「3日購入土地利用の調査検証を追加すべき」と主張しています。

市長選で厳しく議論され審判されなければならぬ課題です。

坪井執行部は、7月10日の市長選後に土地購入契約を実施すべきです。

市長選で審判が下されます。日立の用地契約差止の

### 宮嶋謙議員、理不尽な一般会計に部分修正案を提出

①複合交流拠点施設等整備事業における2.9日用地取得費、実施設計業務委託費等11億7414万4千円

②市が構成外であった霞台旧施設解体調査設計業務委託料のかすみがうら市負担分399万9千円

③4年前返還が決まっていた第2常陸の公園の用地取得費1900万円

一般会計から3案件を除外することを求める。

### 市長・副市長は「ヒ素化合物」を含む産廃埋設を知っていた。

平成29年3月3日決済(前号訂正)

起案書抜粋(神立駅西口)停車場線予定地の一部から廃棄物が確認された。本年度発注30m区間からも廃棄物が確認、廃棄物の埋設状況から筑波ハウス駐車場敷地の広範囲に埋設されていると判断します。道路工事発注区間の除去および処分について(株)日立製作所と協議を重ね、覚書を作成しました。締結してよろしいか

(3月3日市長副市長の決済印)

### 合意書(抜粋) 令和3年5月31日

甲 (株)日立インダストリアルプロダクツ  
乙 かすみがうら市

第2条(1)売買目的及び代金

② 売買代金については、売買契約時に再度不動産鑑定評価を行い、正式には売買契約で定める。

(3) 本物件の引渡し等等

① 本物件の引渡しは2023年3月31日までに行う、

② 甲は2022年3月31日までに、本物件の地中に存する埋設物の撤去を行う。本物件引渡し前に、甲乙の双方で埋設物撤去の確認をおこなう。

③ 本物件引渡し後に新たに越境物等が発見され、かつ当該越境物等の解消が必要な場合は甲乙協議の上対応する